

令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）【概要】

日 時：令和4年7月19日（火）午前10時から正午まで
会 場：千葉県庁企画管理部会議室（中庁舎9階）

1 出席委員（敬称略・名簿順）

佐藤 智司、谷口 和巳、永島 克彦、篠木 賢正、本宮 照久、櫻井 比呂樹、三浦 明久、
山下 秋一郎、佐久間 勝彦、小熊 隆（会長）、石川 和之（副会長）、濱詰 大介

2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 会長、副会長選出

(5) 報告

① 令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 結果について

イ 調査書の評定について

ウ 中学校及び高等学校からの意見について

② 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について

ア 入試日程について

イ 令和5年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について

ウ 選抜方法等について

③ その他

(6) 協議

① 「令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査」の結果について

② 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

③ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程について

④ その他

(7) 閉会のことば

3 協議内容

① 「令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査」の結果について

→調査結果より、検査期日、調査書の評定、二段階の選抜について、この協議会での協議
題にしたい。その他協議題とすべき内容があるか。

・なし。

② 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について

→インターネット出願や郵送出願について、それぞれの立場から御意見をいただきたい。

- ・保護者や受検生の負担を考えると、郵送出願やWEB出願をなるべく早急に検討していただきたい。
- ・高校側としては、郵送、持参、WEBという3つの出願方法に対応するのは難しい。入試に関しては公平性、公正性、ミスがないということを考えなくてはいけない。せめて2つに絞ってもらいたい。
- ・千葉大学は、2年前にWEB出願に切り替えた。国立大学では遅い方である。ミスを起こせないというところで苦労をした。方法を複数にすることで、事務量が増え、ミスが起こることを懸念し、最初からWEB出願一本で運用するようにした。2年間やってみて、1年目は、予期せぬことが起こったが、受付については事故なくできた。出願方法を郵送とWEBと両方持つておくというのは安全のような気もするが、逆にどちらかを積み残して、受検者が漏れてしまう事故の方が怖い。先行実施で様子を見ながら、どういう人員が必要で、エラーなくやるにはどうしたらいいか、積み上げていけばいいのではないか。
- ・淑徳大学は、現在すべてWEB出願で行っている。メリットは、紙媒体での出願では、書類不備が多いが、WEBであると、入力時点で間違いがあるとその場でわかって入力し直すことができるので、そういった面では負担が減った。WEB出願にしても、調査書等、紙で提出してもらうものがあり、それとの照合はしていかなければいけない。今後、調査書のデータ化が進めば、また変わってくるのではないかと認識している。紙で提出してもらうものがある限り、郵送は残ると思うので、そことの融合が必要であると思う。
- ・中学校現場は、WEB出願に対して、出願書類のチェック等も含めて環境は整っているのか。
- ・中学校では、私立高校受験に関してはもうすでにWEB出願が周知されていて、保護者もそれが当たり前のような状況となっている。WEB出願に関しては、中学校の校長先生へのアンケートでも強い要望がある。
- ・WEBという方向で変わっていく方が良いのではないかと。
- ・中学校側も高等学校側もデータ管理のことを考えるとWEBが良いのだろうと思う。業者もいくつかあり、それを利用すると学校説明会などのデータも見られる。私立の高等学校は、ほとんどがWEB出願に対応している。
- ・社会はどんどんデジタル化が進んでいる。教育現場もそういう風に進んでいくのが望ましいのではないかと。
- ・大事な受検なので、現場としては不安が残ると思う、先行実施の2校を見て、いろいろな点が出てくると思うので、県教委やこの場で検討していければいいのではないかと。

③ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程について

→A案、B案、C案の日程を提示した。持ち帰る上で質問はあるか。

・私学の日程や、卒業式の日程について教えていただきたい。

→私学に関してはここ数年、試験の開始日は前期が1月17日、後期が2月15日となっている。また、国立高専は2月第2日曜日となっている。どれも、まだ確定ではない。高校の卒業式についても、3月上旬ごろだが、確定しているものではない。

・C案は前日が休日だが、資料3でそれは避けてほしいという意見があるという中で、C案を出した理由があるのか伺いたい。

→本検査と、追検査及び発表との間隔についても検討していただきたい。A、B案の日程で、追検査や発表についてはC案が良いというようなこともある。この3つの案から選ぶということではなく、この案を基にいろいろ御意見をいただき新たな日程案についても検討したい。

④ その他

→今後の日程について、第2回は10月上旬、第3回は11月上旬を考えている。日程については、今後都合調査をさせていただく。